

## 平成 28 年度・第 1 回部門長会議 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 平成 28 年 6 月 8 日 (水) 18:30~21:00

場所 岐阜県臨床検査技師会 事務所

出席者 浅野・近藤・林・日高・森・帖佐・関・石田・石郷(景)・渡邊・八島・森本・後藤

委任状 なし

1. 副会長・部長挨拶
2. 春季拡大研修会の参加報告をした。会員 86 名(申請中 3 名)、賛助会員 16 名の合計 102 名の参加があった。一般市民は 38 名の参加があった。
3. 新人サポート研修会の参加報告をした。会員 70 名、会員申請中 10 名、会員講師 7 名、学生 33 名 合計 120 名の参加があった。アンケートは現在集計中
4. 日臨技生涯教育推進研修会助成金の変更点と申請から決算書作成までの手順を再度説明した。今回から参加者一覧・決算書の印刷郵送が不要となる。
5. 平成 28 年度秋季拡大研修会は東濃地区が担当で微生物・遺伝子研究班が担当する。市民公開講座に関しては学術部門で講師選定するが各部門長から意見を伺い最終決定する。
6. 岐臨技研修会の案内作成から予算書・決算書作成手順を説明した。予算書・決算書作成における交通費支給に関して今後は日臨技の「旅費交通費規定」にそって自宅・病院から研修会場までの距離を(会長・会計)が計算して支給することでお願いした。
7. 検査と健康展について今年度の活動計画案を浅野副会長から説明して頂いた。日程は 11 の予定でマーサ 2 1 のマーサスクエアを希望して調整している。
8. 本日をもって、帖佐学術部長の新体制に完全移行したことを各部門長に報告した。
9. 会員講師に関する増額の件で検討した。学術部門の意見として、通常の研修会に関しては会員講師 1000 円で問題ないが、新人サポート・実習形式の研修会・1 日での研修会に関しての会員講師に関しては「実務委員と会員講師とで同金額なのはおかしい」との意見もあり、可能であれば会員講師には増額を希望したい。金額に関しては理事会で審議をお願いしたい。精度管理調査報告における黒本作成業務に関しても業務負担が大きいため増額を希望したい。
10. 日本糖尿病療養指導士認定更新のための書類は平野総合病院の近藤が作成していたが、今後からは事務所種村さんに作成依頼し郵送で対応する。
11. 都道府県技師会主催「新人会員研修会」の扱いについて協議したが回答は出ず、岐臨技の扱いについて再度理事会等で再審議が必要と思われた。
12. 帖佐学術部門長から「部門別の構成」「部門研修会における外部講師の扱い」「実技研修

の扱い」「日臨技の助成金について」「内部講師の育成」「各部門の予算」に関する提案  
があり説明して頂いた。すぐに実施可能な内容に関しては実行して頂き、時間が必要で  
審議が必要な内容に関しては、今後の改善をお願いした。

以 上

署名人 近藤 眞一



署名人 \_\_\_\_\_ 印